

寸鉄

戦争法廃止のための国民連合政府と選挙協力を呼び掛けた共産党の提案が話題を呼んでいる。思想・信条、政治的立場の違いを乗り越え、安倍自公政権を退場させて立憲主義・民主主義・平和主義を貫く新しい政治をとうものだ▼「オール沖縄」の次は「オールジャパン」と言われるが、元祖は大阪のたにかいだ。4年前、橋下知事から大阪市長に鞍替えし、ふってわいたダブル選では、維新の独裁政治はノーと、共産党も参加する大阪府をよくなる会が候補を取り下げ、平松氏を自主支援▼13年の堺市長選挙でも、「堺は一つ」を合言葉にした一点共闘で、「都」構想と維新政治にきっぱりノーを表明した竹山氏を自主支援。泉南、寝屋川、吹田各市でも反維新の一点で共同し、維新政治から自治体を守ってきた▼スクラムがさらに広がったのが今年5月の大阪市の「住民投票」。超党派による街頭演説、集会、街頭宣伝、練り歩きと、歴史打ちな共同行動が次々に生まれた▼「連合政府」の呼び掛けは、政策的な違いがあっても、互いに留保・凍結して、大同団結を提案している。それほど安倍政権が緊急・重大な危険性を持っているということだ▼「住民投票」で共にたたかった保守幹部は、「立場が違う人とも話し合うことが大事だと実感した」と話した。ダブル選、参院選と大義を胸にさらに共同を広げ、安倍政権、橋下維新政治に必ず終止符を打ち、新しい政治を。